
第 36 報 2019 年 12 月 17 日

平成 28 年熊本地震 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向



一般財団法人 経済調査会

平成 28 年熊本地震により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。

熊本県内の復旧・復興工事に関わる主要建設資材等の価格および供給情報について、2019年12月10日までに収集した情報をもとに取りまとめましたので、お知らせいたします。

調査にご協力頂きました関係各位に感謝申し上げますとともに、当資材供給情報が被災地の復興に向けた一助となれば幸いです。

※災害復旧資材の供給情報提供窓口 <https://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/>

【問い合わせ先】

一般財団法人 経済調査会 土木第一部

TEL : 03-5777-8215 FAX : 03-5777-8230

【生コンクリート】

（熊本地区）

熊本地区の11月の出荷量は6万9,565m³と前年同月比9.9%減（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。熊本駅前の再開発等大型民需もあり、今後も需要は堅調に推移する見通し。一方、アジテーター車が不足しており、需給はややひっ迫している。

価格は、建築標準物21-18-20でm³当たり1万5,500円どころを横ばいで推移している。原材料費、輸送コスト等が高騰するなか、熊本地区生コン協組では、強固な共販体制を背景に現行価格の維持に注力している。先行き、横ばいで推移する見通し。

（阿蘇地区）

阿蘇地区の11月の出荷量は2万3,355m³と前年同月比33.6%減（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。大型物件向けの出荷は一服感が出ており対前年割れの状況が続いている。ただ、震災復興関連工事向け需要は依然として続いており、今後も例年以上の出荷は見込まれている。

価格は、建築標準物21-18-20でm³当たり1万9,300円どころを横ばいで推移している。阿蘇地区生コン協組では、強固な共販体制を背景に現行価格の維持に注力している。先行き、横ばいで推移する見通し。

【コンクリート用砕石】

（熊本地区・阿蘇地区）

熊本駅前の再開発工事等大型民需向けなどで生コン出荷は堅調に推移しており、原材料の骨材需要も旺盛なものとなっている。供給側は増加する需要に対応するため設備更新を行う等、安定供給体制の維持に努めているが、各社とも高い水準での生産状況が続いており、需給はややひっ迫している。

価格は20～5mmが熊本地区でm³当たり3,400円。阿蘇地区でm³当たり3,900円どころ。熊本地区砕石共販協同組合では、強固な共販体制を背景に、現行価格維持に注力している。先行き、横ばいで推移する見通し。

【アスファルト混合物】

（熊本地区・阿蘇地区）

熊本県下の10月の製造数量は5万8,031tと前年同月比約27.9%減（日本アスファルト合材協会調べ）と大幅に減少している。大型物件に乏しく、熊本市中心部の需要は精彩を欠いている。

価格は再生密粒度(13)が熊本地区でt当たり10,700円どころ、阿蘇地区でt当たり12,200円どころを横ばいで推移している。供給側は従前からの製造コスト・運搬コストアップ分を製品価格に転嫁したい意向を示している。ただ、需要が盛り上がりを欠くなか、需要者側の購買姿勢は依然厳しく、現行価格の維持が精いっぱい状況。先行き、熊本地区、阿蘇地区とも横ばいで推移する見通し。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（地場資材）

【2019年12月10日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	熊本地震以降の直近変動 (月号・額) ※2016年4月号 以降の変動		単位	価 格 (円)	前月比	現在の需給	先行き	
								需給	価格見通し
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) [132]	熊本	—	(変動なし)	m3	15,500	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 7月号	2,000円上伸	m3	19,300	変わらず	均衡	均衡	横ばい
コンクリート用 砂 荒目(洗い) [193]	熊本	2017年 12月号	250円上伸	m3	3,350	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 12月号	200円上伸	m3	4,100	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砕石 20～5mm [193]	熊本	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,400	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	300円上伸	m3	3,900	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
再生 クラッシュラン 40～0mm [193]	熊本	—	(変動なし)	m3	2,000	変わらず	均衡	均衡	横ばい
	阿蘇	2019年 9月号	150円上伸	m3	3,350	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
アスファルト 混合物 再生密粒度 (13) [326]	熊本	2019年 10月号	300円下落	t	10,700	変わらず	均衡	均衡	横ばい
	阿蘇	—	(変動なし)	t	12,200	変わらず	均衡	均衡	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（一般資材）

【2019年12月10日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
鋼材 異形棒鋼 [24]	熊本	価格は、SD295A・D16で前月比横ばいのt当たり6万7,000円どころ。鉄屑市況の反発などから、じり安で推移していた市況は、一旦下げ止まりを見せている。足元の需要少なく、販売側も現行価格水準維持の姿勢を見せており、目先、横ばいで推移の見通し。	緩和	緩和	横ばい
型枠材 コンクリート型枠用合板 [217]	熊本	価格は無塗装品ラワン、12×900×1800mmで枚当たり1,350円と前月比横ばい。需要は盛り上がりを見せており、需要者側は当用買いの姿勢を維持している。年末年始を迎え需要回復の見込みは薄いことから、目先、横ばいで推移の見通し。	緩和	緩和	横ばい
仮設鋼材賃貸料金 鋼矢板・H形鋼 鋼製山留材 鋼製覆工板・敷鉄板 [286～292]	熊本	仮設鋼材の稼働はここ数年高い水準で推移し、今年度も工事量が多いことから、需給はタイトな状況が続いている。 賃貸業者は値上げの意向を示しているが、需要者からの指値は厳しく、値上げ浸透には時間を要する見通し。先行き、横ばいで推移する公算が大きい。	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい

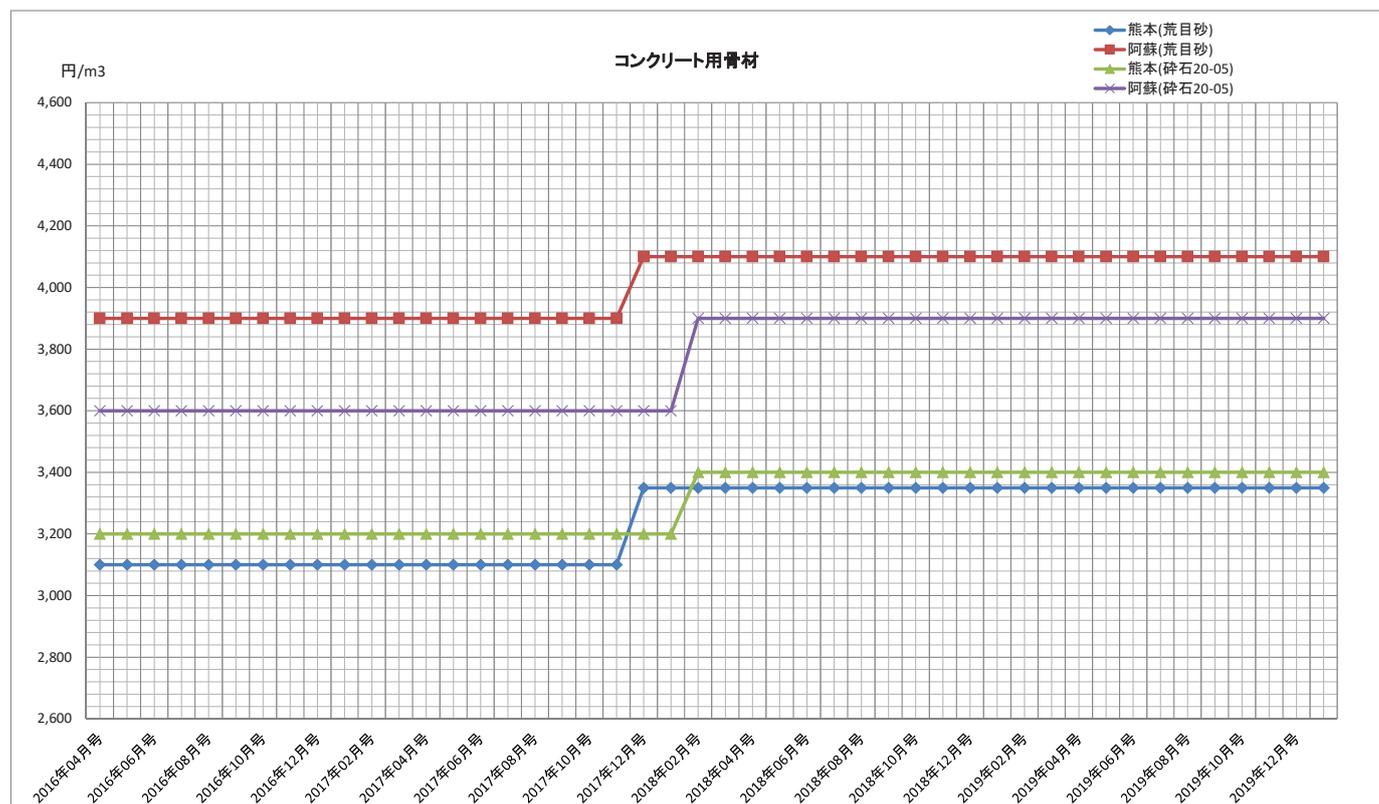
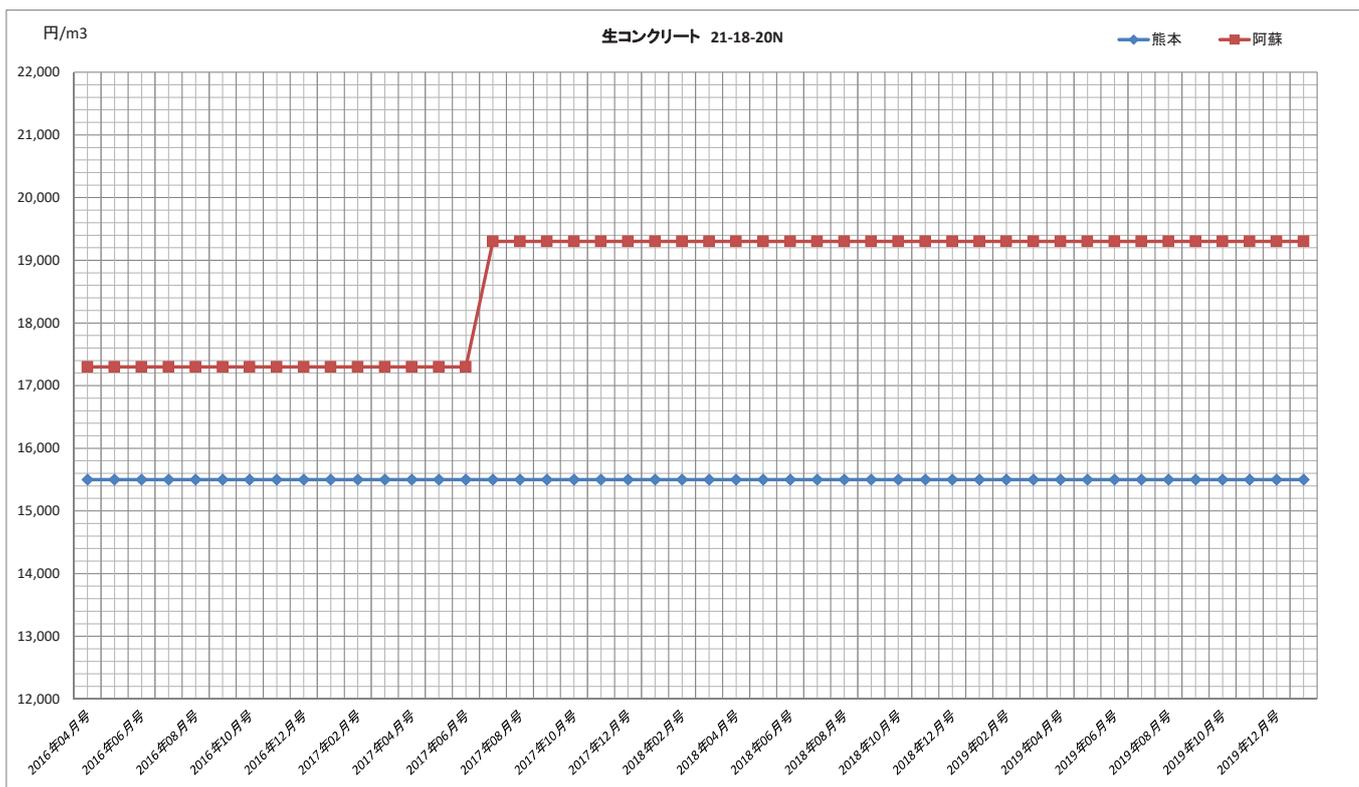
【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

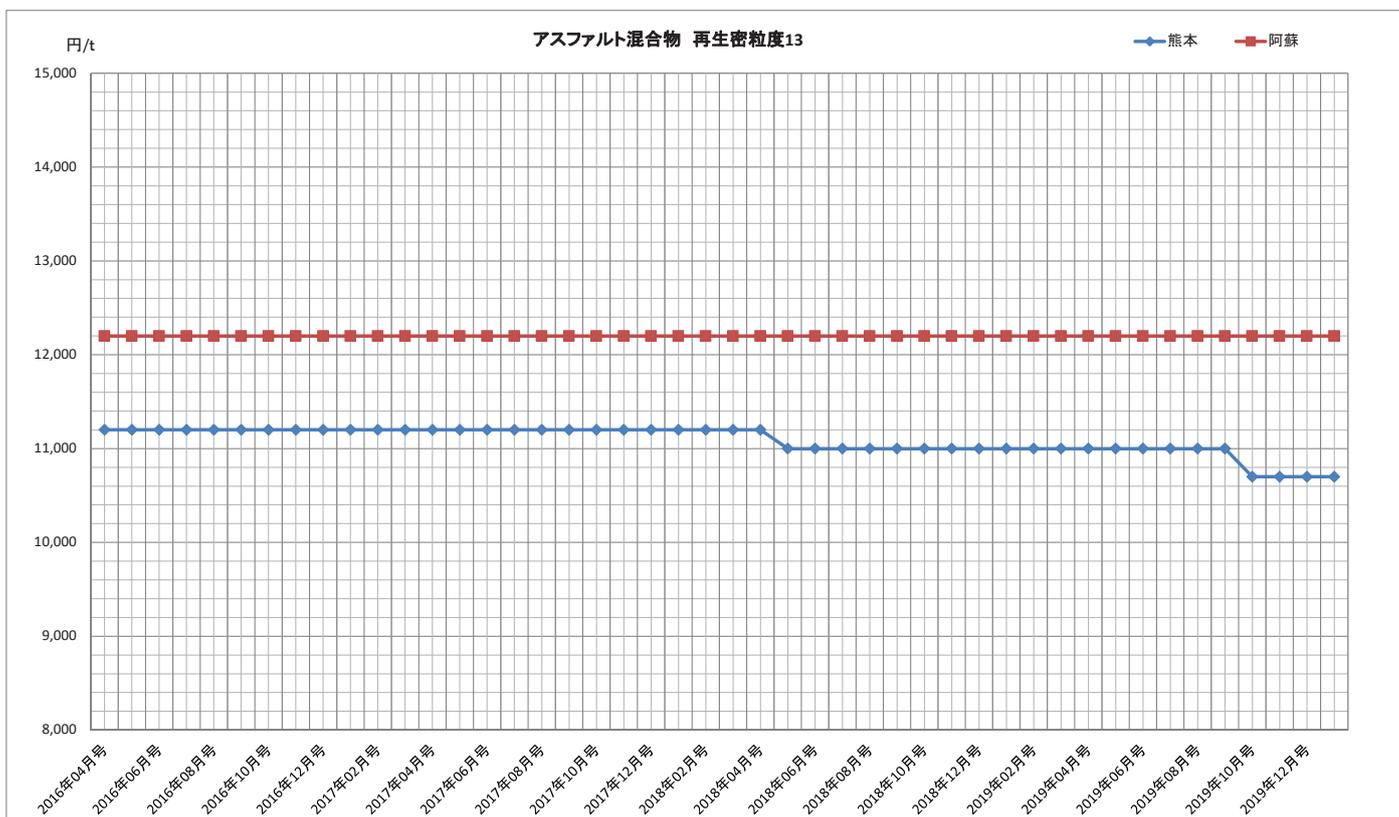
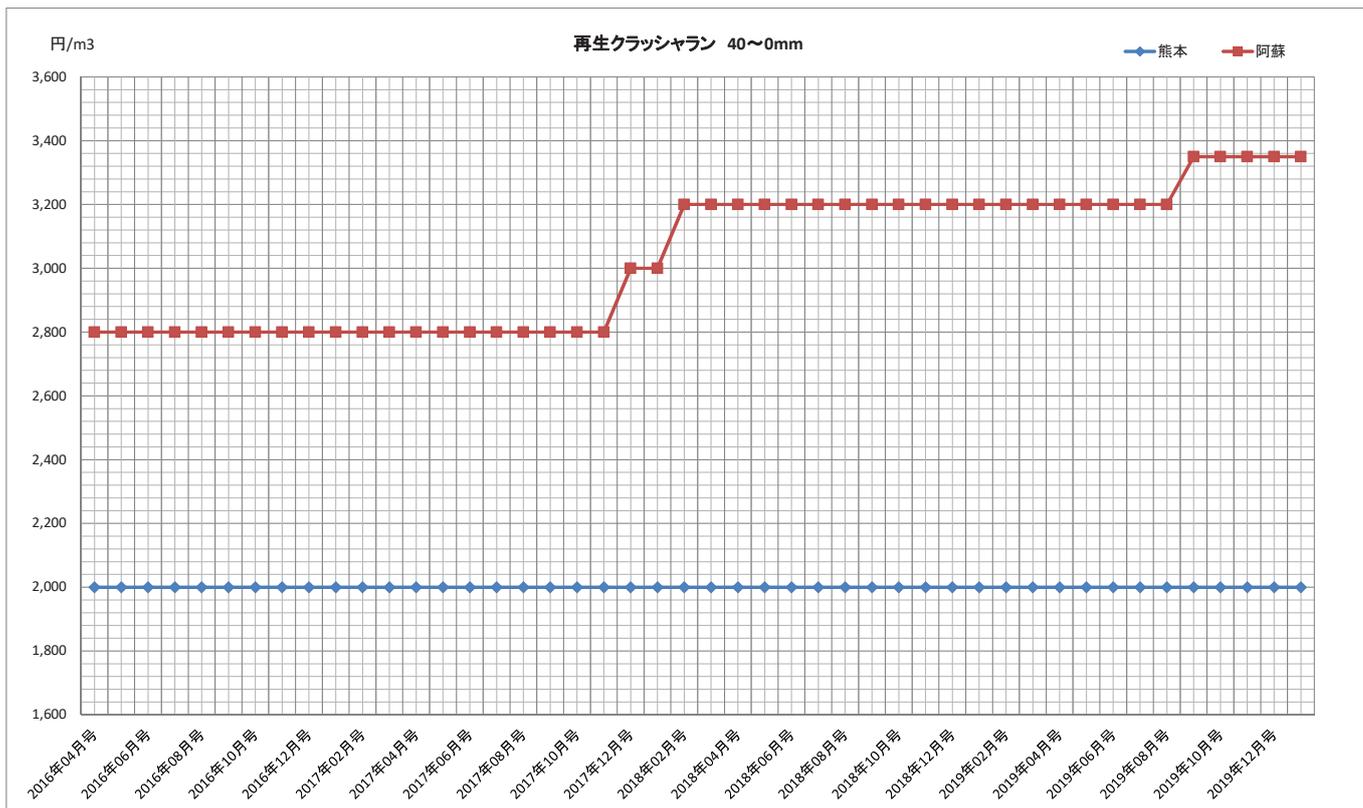
【2019年12月10日 現在】

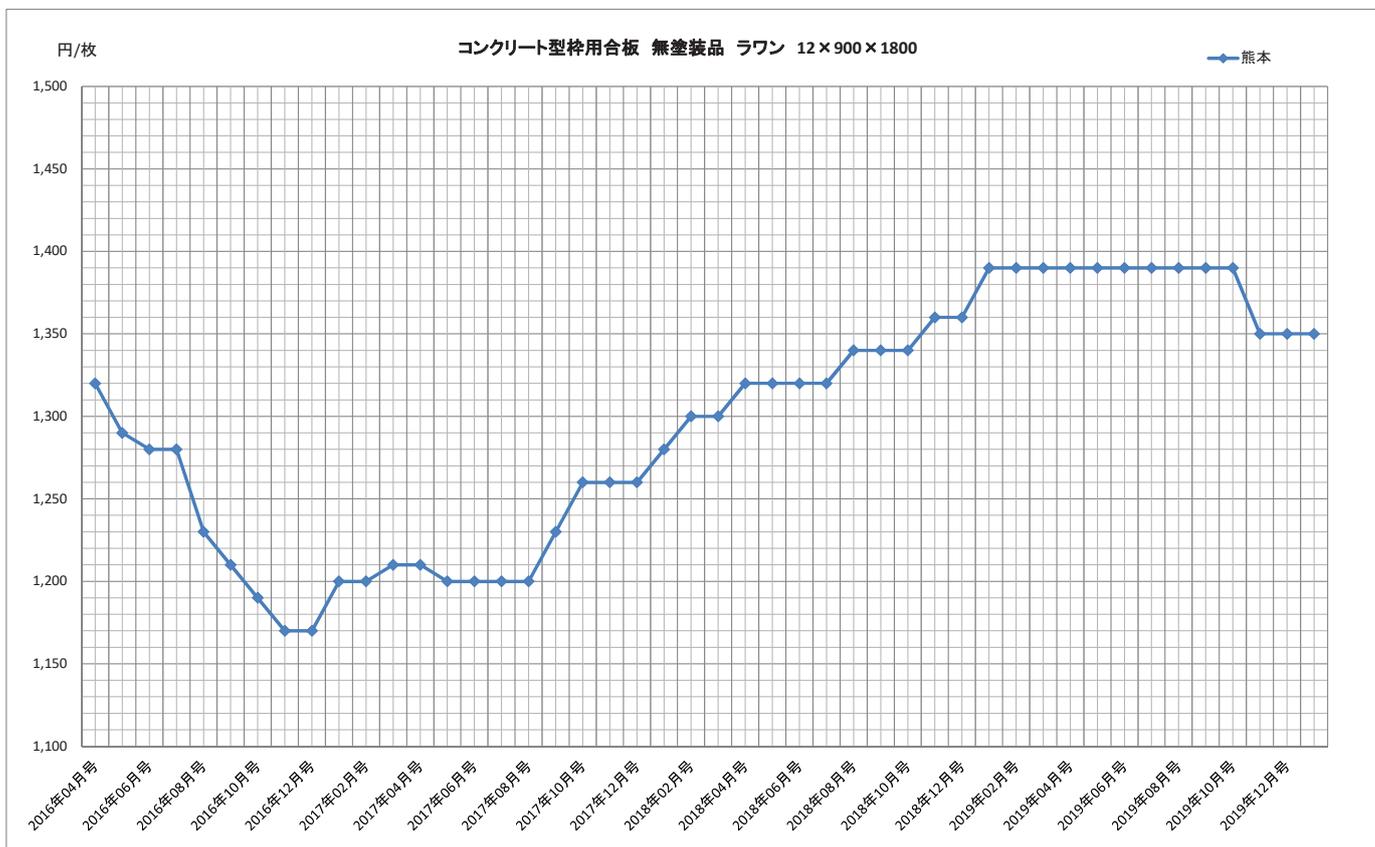
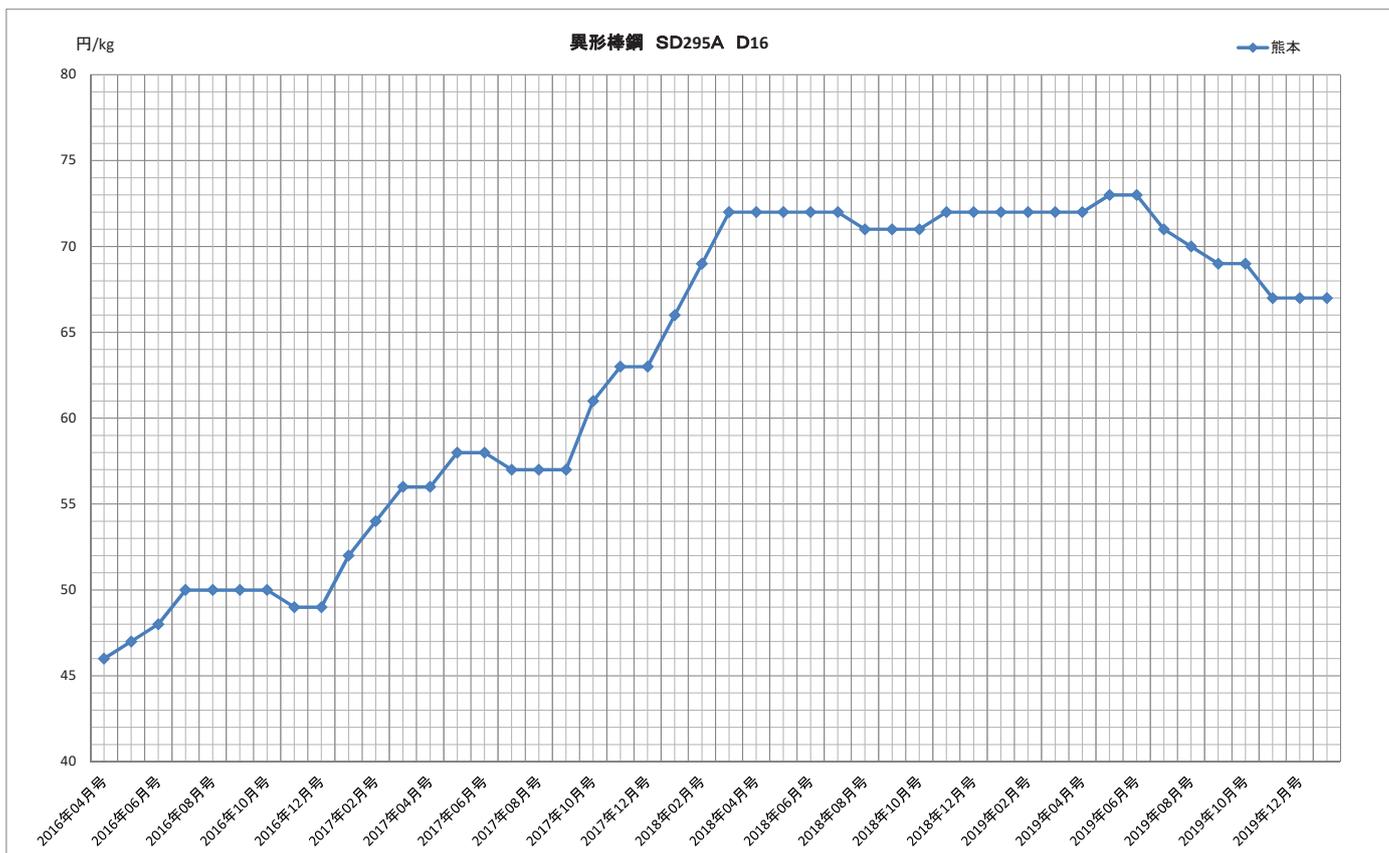
資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
土木工事市場単価 鉄筋工(手間のみ) [土木施工単価3~9]	熊本	価格は一般構造物でt当たり60,000円どころと、前回調査時から横ばいで推移。災害復旧関連工事を中心に依然として工事量は多く、職人のひっ迫状況は続いている。そうした中、専門工事業者側はさらなる値上げを要請しているが、需要者側の反発は強く、市場への浸透はしていない。先行き横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
建築工事市場単価 鉄筋工事(手間のみ) 建築施工単価 [市場単価10~13]	熊本	需要は、市内再開発工事や駅前大型工事の他、災害復興工事を中心に堅調に推移し、専門工事業者の稼働率は高水準を維持している。価格は、RCラーメン構造・階高3.5~4.0m程度・形状単純でt当たり56,000円どころと前回調査比横ばい。先行き、大型再開発工事の本格化に伴い、次第にひっ迫感が高まる見込み。目先、横ばい推移。	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
建築工事市場単価 型枠工事(材工共) 建築施工単価 [市場単価20~23]	熊本	需要は、市内商業施設や駅前再開発工事など、底堅く推移している。価格は、普通合板型枠・ラーメン構造・地上部階高3.5~4.0mでm2当たり5,000円どころと前回調査比横ばい。依然として専門工事業者のひっ迫感に緩みはみられず、今後も大型工事の着工が予定されていることから、当面、この状況が継続する見込み。目先は横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい

【特記】 需給動向は専門工事業者及び総合工事業者に確認し、直近3か月前と比較した結果である。

【主要資材の価格推移】







【工事市場単価の価格推移】

